

南区シニア世代のネット活用調査報告

NPO 法人シャーロックホームズ

2013年9月

1. 調査概要

調査名：シニア世代のネット活用調査

調査目的：2013 年度フォーラム南太田地域出前事業の講座内容を具体的に企画するにあたり、南区在住のシニアの現在の IT 機器の活用度について把握し、講座の方向性を決定する。

調査対象：南区在住の南区老人クラブの 50 歳上の男女

(南区老人クラブ連合会事務局を通じて配布、回収。)

調査形式：A3 裏表の質問紙 (全 10 問)

調査期間：2013 年 6 月～7 月

調査サンプル数及び回収率：250 部配布 161 部回収 (回収率 64%) 有効回答数 149 名

2. 調査結果概要 (一部抜粋)

・調査対象の男女比は、女性 50%、男性 43%、不明 7%であった。

・年齢構成は、60 代が 17%、70 代が 55%、80 代が 28%

(男女とも 70 代が 5 割強を占める。女性の方が男性よりも 80 代が少なく、60 代が多い)

.....

(1) スマートフォンでない携帯電話を日ごろ使っているのは全体の 50%

(2) スマートフォンを日ごろから使っているのは 4%

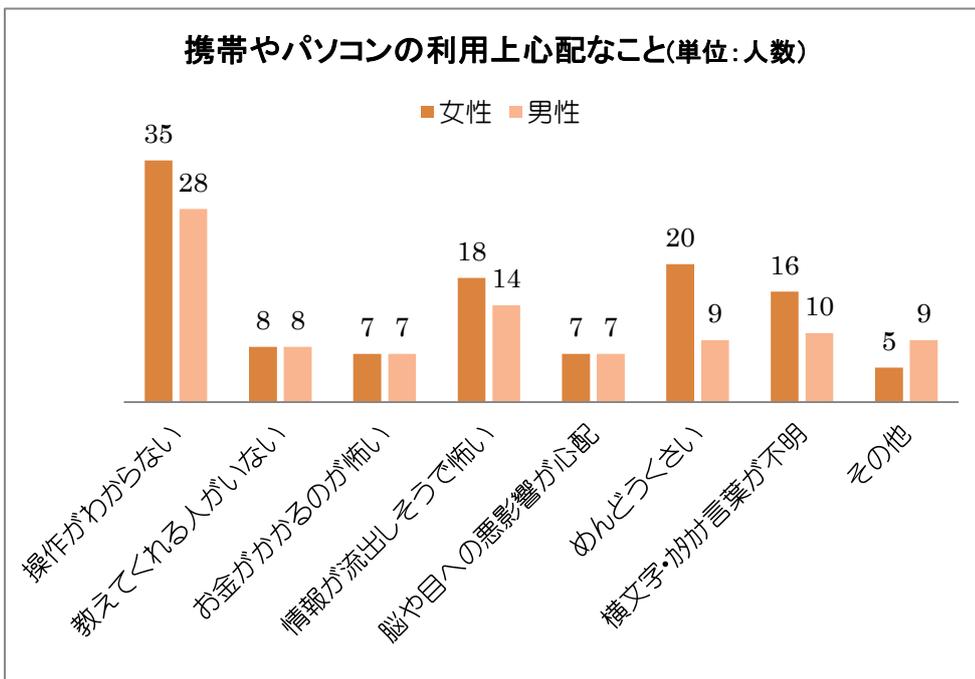
(3) パソコンを日ごろから使っているのは 25%

ただし、男女間で差があり、男性は 32%だったのに対し、女性は 21%。しかも「知っているが使ったことがない+知らない」を合わせた数字の比較をすると、男性 35%に対し、女性は 52%。すなわち**女性の 5 割以上の方が PC を使ったことがないということがわかる。**(下部のグラフ③参照)

(4) タブレット端末、iPad、ツイッター、ミクシーなどを日ごろから使っているのは 1-2%にとどまり、フェイスブックにいたっては日常的に使っている人は一人もいなかった。

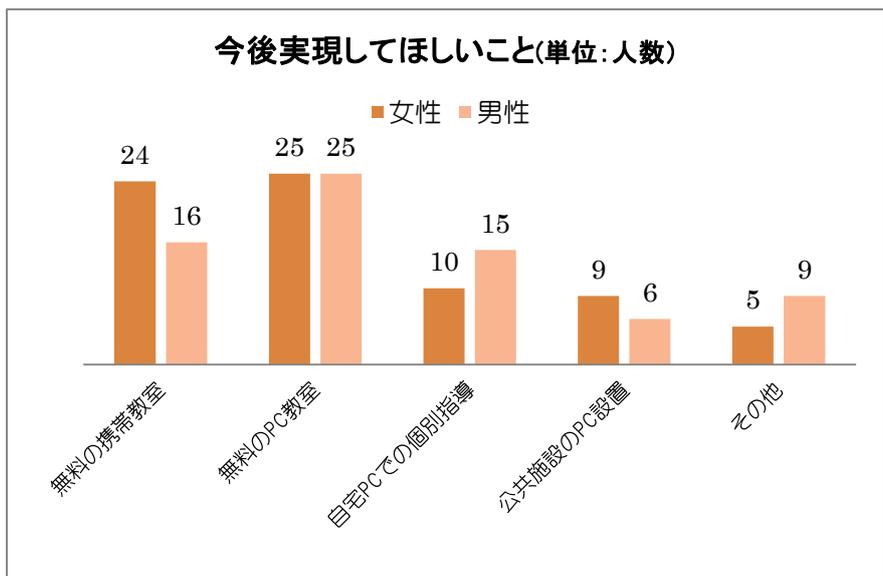
(5) ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) を使ったことのない人の新規参入意欲は低く、5 割の人が使いたくないと答え、「使いたいけどどうやって使っているのかわからない」の 2 割を大きく引き離れた。

(6) また、携帯やパソコンを暮らしに役立てていく上で心配なことは、操作がわからないことが圧倒的であった。(下記グラフ①参照)



グラフ① (単位：人数)

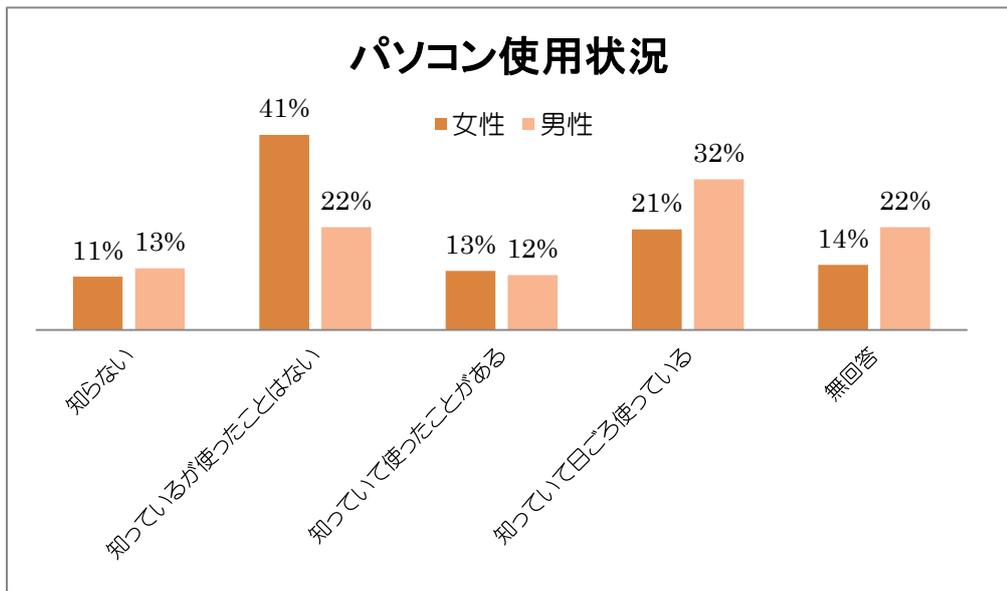
(7) また、「携帯やパソコンなどを暮らしに役立てていく上で実現してほしいこと」として選んだのが下記グラフである。



グラフ② (単位:人数)

一番数が多かったのは、パソコン(PC)教室であったが、女性に関しては、「無料の携帯電話教室」へのニーズも同程度に高かった。

また上記 2-(3)で述べたが、女性は男性に比べて PC を日ごろ使っていない人の比率が高い。(グラフ③参照)



グラフ③

3. 結論

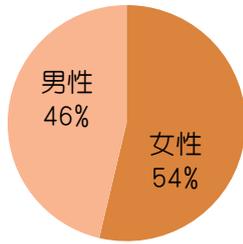
シニア女性向けの IT 講座という地域出前企画の内容としては、シニア女性には携帯電話に比べて PC 使用は浸透していないのが現状なので、2-(7)の希望のうち、無料の携帯電話教室を開催した方が、実際に活用してもらえる可能性が高く得策であると考えます。よって、「携帯電話の操作方法を、防災情報の取り方を絡めながら教える」という講座内容を組み立てていくことに決定しました。

4. 添付資料

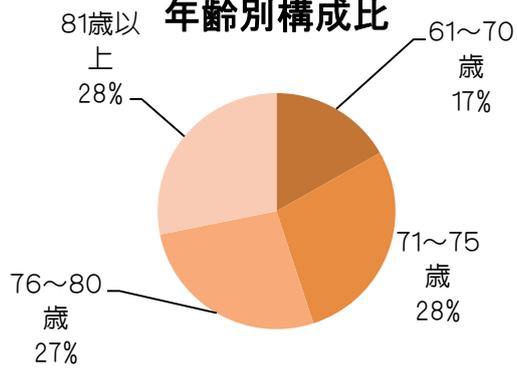
調査結果グラフ一覧 (次ページ以降)

【南区シニア世代のネット活用調査 結果グラフ一覧】

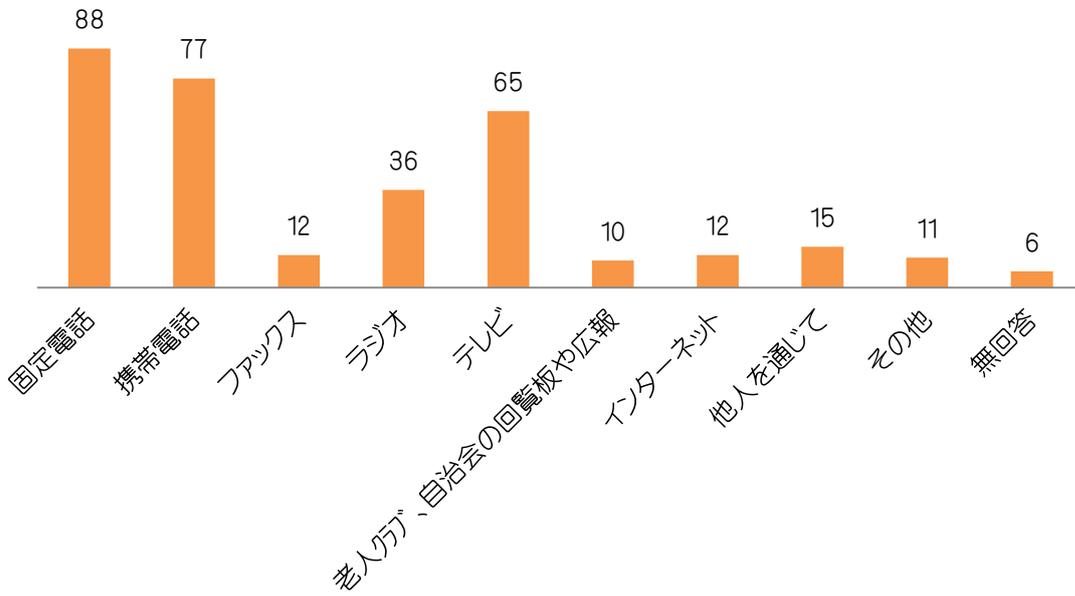
男女構成比



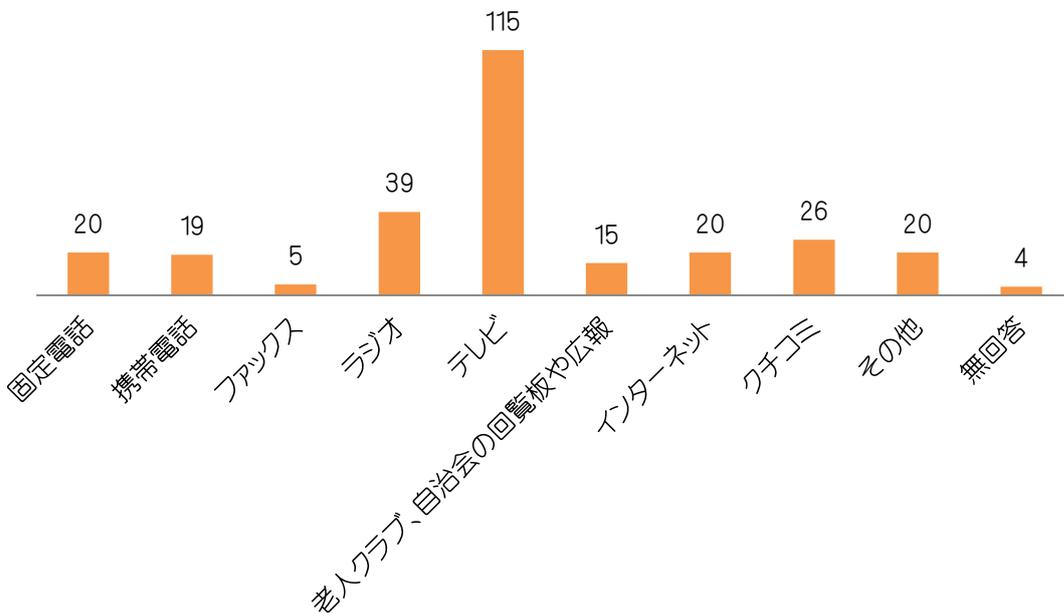
年齢別構成比



震災時の安否確認手段(単位:人数)

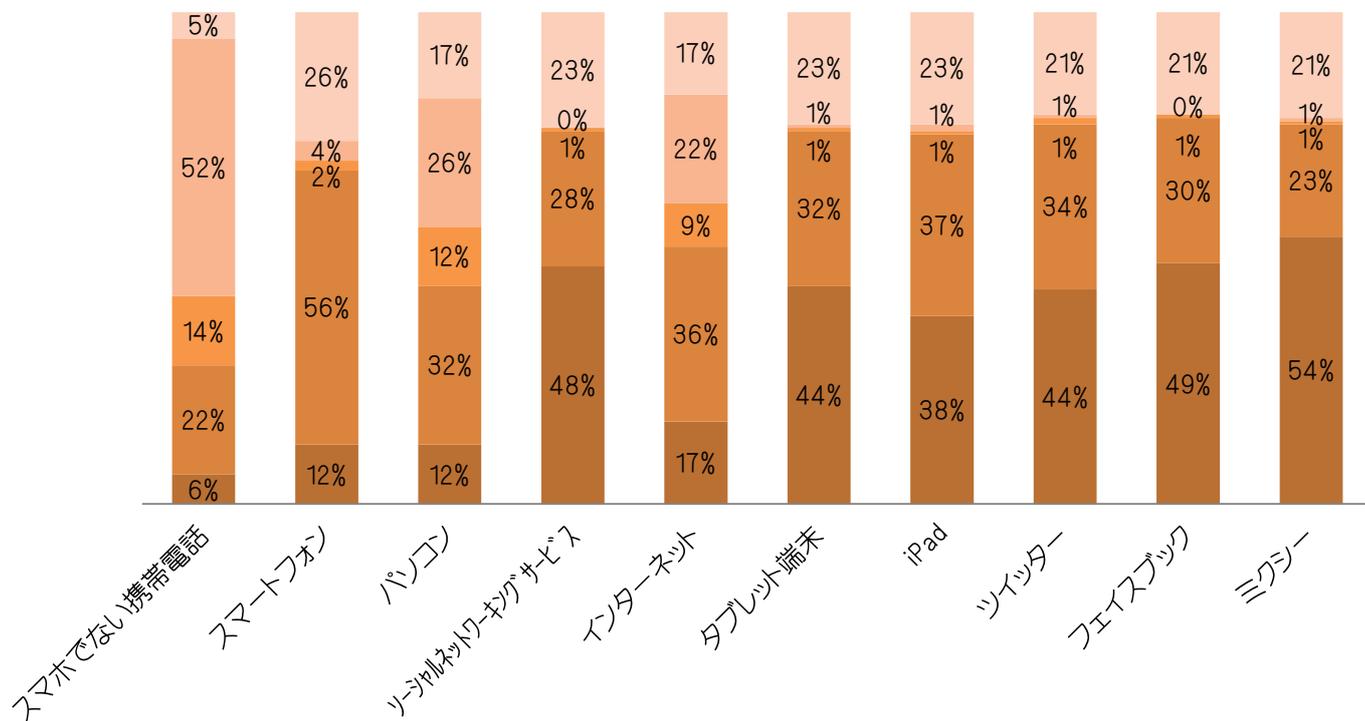


計画停電情報入手の手段(単位:人数)

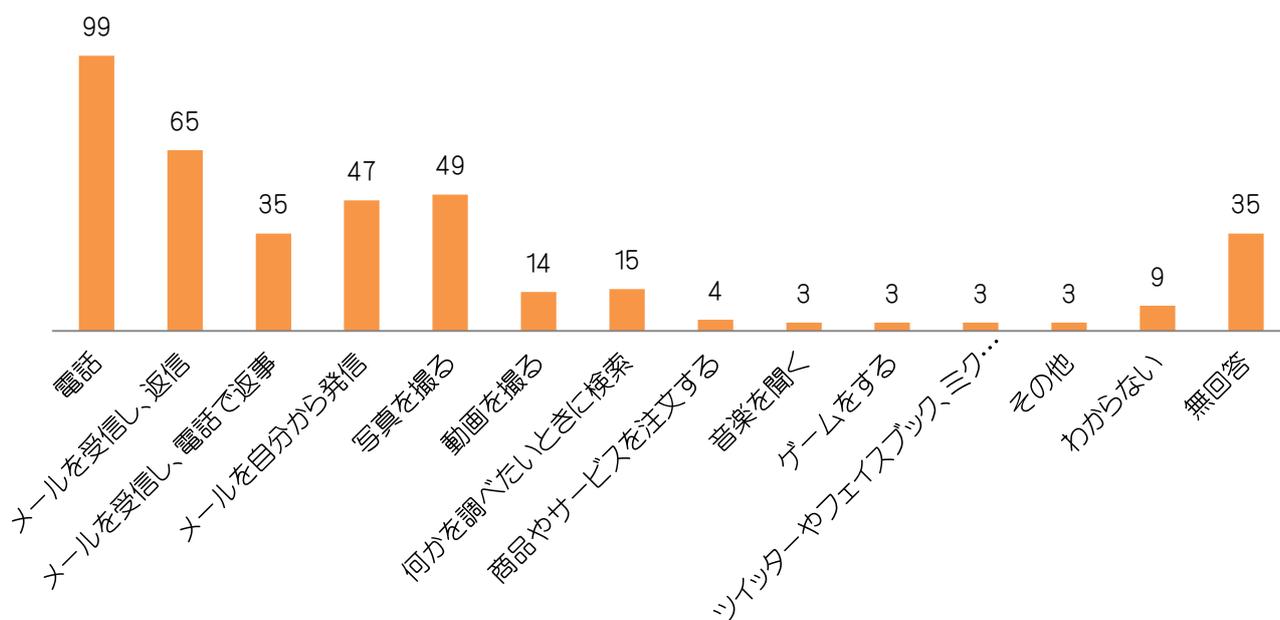


各機器の認知度と使用経験

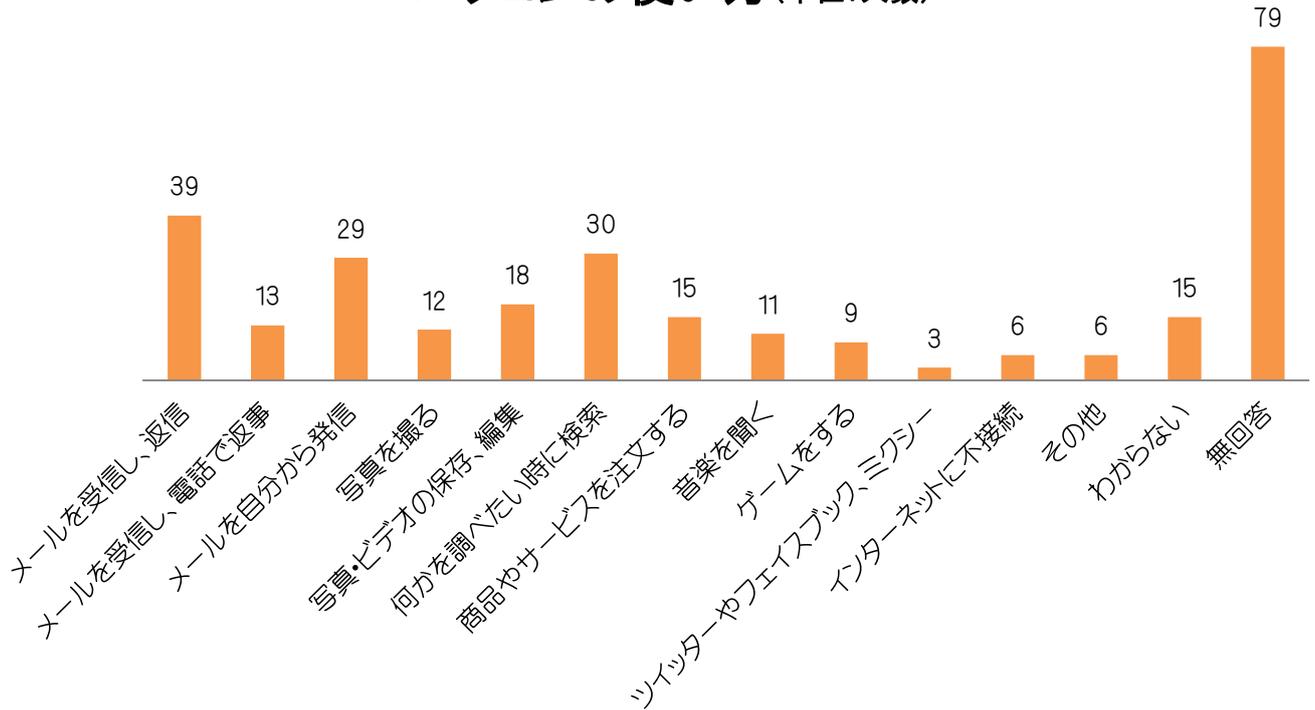
- 知らない
- 知っているが使ったことはない
- 知っていて使ったことがある
- 知っていて日ごろ使っている
- 無回答



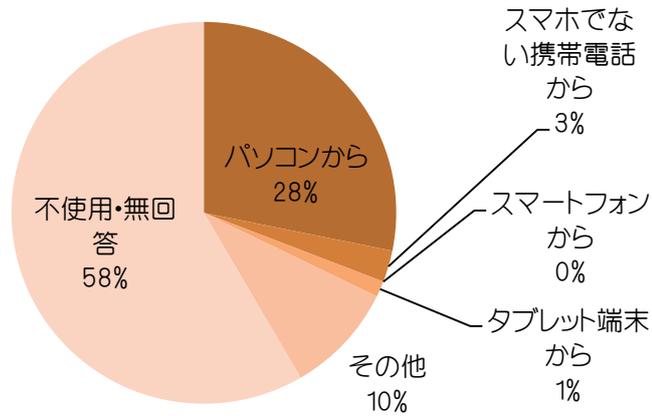
携帯電話の使い方 (単位: 人数)



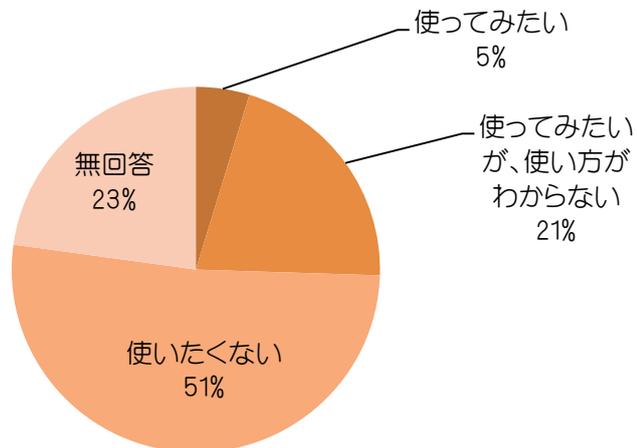
パソコンの使い方(単位:人数)



一番よくインターネット接続に使う機器

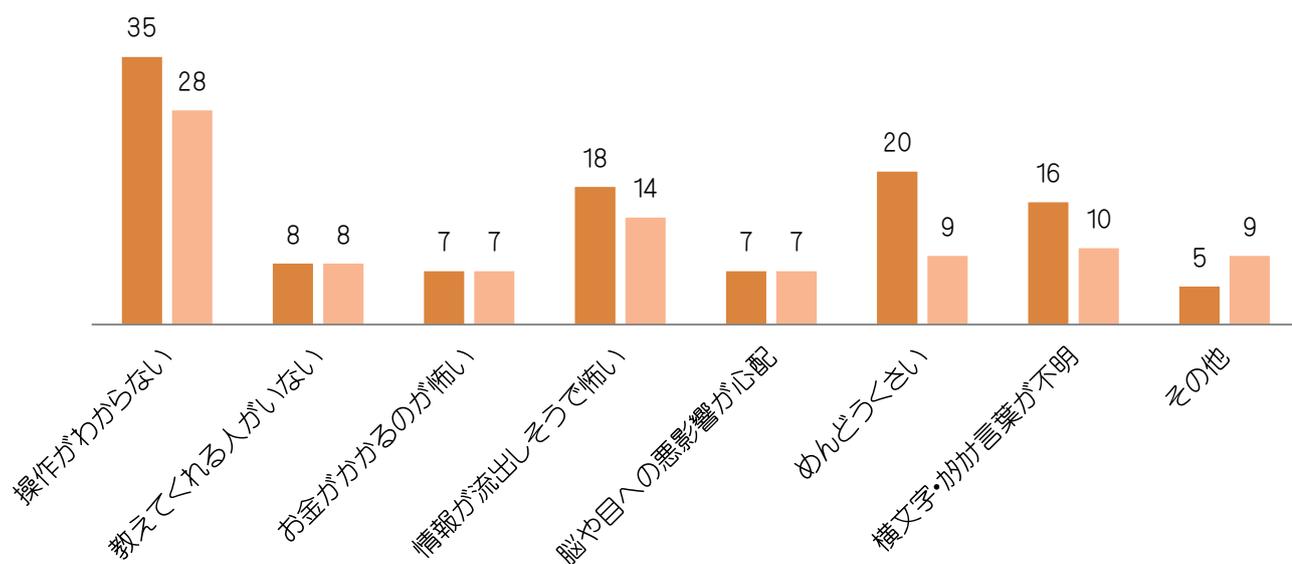


ソーシャルネットワーキングサービスの利用意向



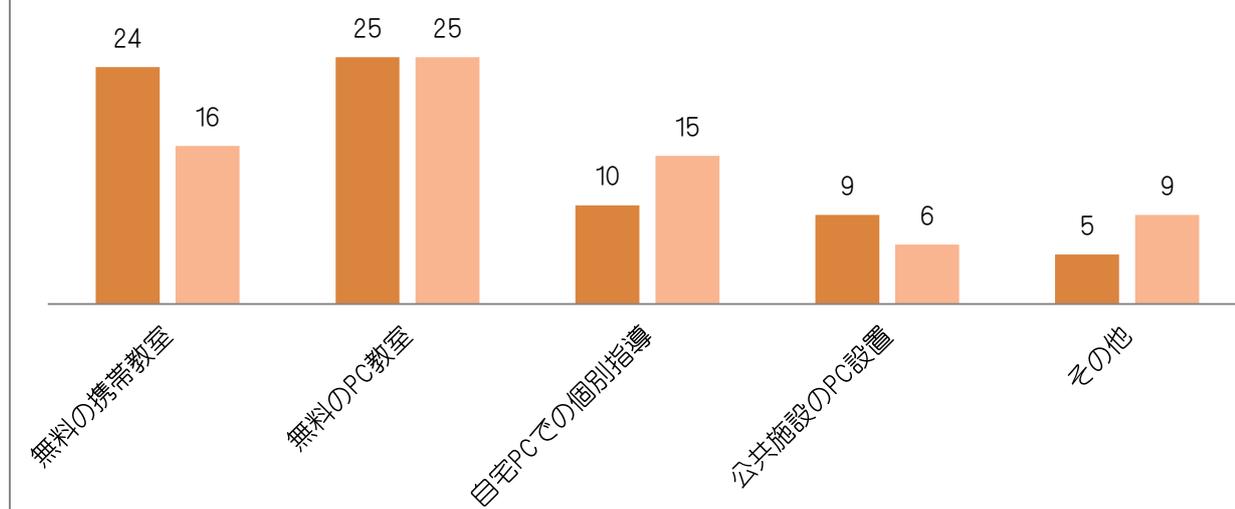
携帯やパソコンの利用上心配なこと(単位:人数)

■女性 ■男性



今後実現してほしいこと(単位:人数)

■女性 ■男性



調査対象:南区在住の南区老人クラブの50歳上の男女

(南区老人クラブ連合会事務局を通じて配布、回収。)

調査形式:A3裏表の質問紙(全10問)

調査期間:2013年6月~7月

調査サンプル数及び回収率:250部配布 161部回収(回収率64%)有効回答数149名